日本中国考古学会

2015 年度大会・総会のお知らせ

開催日：2015 年 12 月 19 日（土）20 日（日）

会場：成城大学 3 号館　2 階　321・322 教室

（詳細は http://www.seijo.ac.jp/access/をご覧下さい）

参加費：大会資料費　1,000 円（予定）

懇親会：

日時：12 月 19 日（土）　18:15 より

会場：成城大学 7 号館学生ラウンジ

会費：一般 3,000 円、学生 1,000 円（会員で学生の方は無料）

（金額は多少変更になる場合がございます）

※　人数確認の必要がありますので、懇親会にご出席の方は 12 月 5 日（土）までにはがきまたはメールに、①氏名・②連絡先（住所・電話）・③日本中国考古学会 2015 年懇親会参加希望、と必ず明記して下記大会事務局までお送りください。

連絡先・問い合わせ：

日本中国考古学会 2015 年度大会実行委員会事務局　（担当：小澤正人）

〒 157 - 8511 東京都世田谷区成城 6 -1-20

成城大学文芸学部　小澤研究室（ozawa@seijo.ac.jp）

プログラム

12 月 19 日（12：00 開場）

13：00　開式

13：10　テーマ発表（～17：05）

「考古学から見た鄴城～隋唐時代への変革期という視点から」

※詳細は別紙をご覧下さい

17：15　ポスターセッション（～18：05）

久慈大介（学習院大学　国際研究教育機構）

「二里頭文化研究のこれまでの動向と今後の展望」

中川　香「成都平原出土の牙璋と長江流域及び沿海地域出土牙璋の関係」

角道　亮介（駒澤大学文学部）「陝北地域における殷周青銅器の受容と展開」

末森　薫（国立民族学博物館）

「敦煌莫高窟北朝期窟の造営の展開に関する一考察

－千仏図像の描写法の変遷を中心として」

劉軍淼（筑波大学人間総合科学研究科世界文化遺産学専攻）

「北魏～北斉時代における曲陽修徳寺出土造像の形式上の特徴及び変化について」

于 術（駒澤大学大学院　人文科学研究科）

岸本　泰緒子（かながわ考古学財団）

「駒澤大学考古学研究室収蔵の伝鄴城出土瓦について」

18：15　懇親会（～20：15）

12 月 20 日（9：00　開場）

9：30　一般発表：午前の部（～12：45）

9：30～10：05　富 宝財（九州大学大学院人文科学府）
「遼西地域における新石器時代の社会組織について」
10:05～10:40　松本圭太（九州大学総合研究博物館）
「初期遊牧民文化における動物紋出現の意義」
（10：40～10：50　休憩）
10:50～11:25　戴　玥（九州大学大学院人文科学府）
「中央ユーラシア東部における青銅器短剣の展開」
11:25～12:00　齊藤　希（九州大学大学院人文科学府）
「いわゆる先周文化周辺の『袋足鬲』の分類と系譜関係」

12：00　昼食　（～12：45）

12：45　総会（日本中国考古学会奨励賞授賞式）（～13：30）（

13：40　一般発表：午後の部（~16:55）
13:40～14:15　雷晉豪（香港浸會大學歷史系）
「失傳古物的古物研究：〈晉公盆〉及其方法論意義
ー兼論中國史上第一個美人計」
14:15～14:50　石谷　慎（公益財団法人黒川古文化研究所）
「春秋戦国時代における曾国青銅器の系譜
―紋様表現と銘文の変化を中心に」
14:50～15:25　山本　尭（東京大学大学院人文社会系研究科）
「淅川徐家嶺墓地に関する一考察」
（15:25～15:35　休憩）
15:35～16:20　佐川　正敏（東北学院大学文学部）
「古代中国の仏寺木塔の心礎と舎利奉安装置の変遷および韓日への影響」
16:20～16:55　呂　夢（金沢大学人間社会環境研究科）
「鄴城地区における東魏北斉皇族墓地の空間構成」

17：00　閉式

考古学から見た鄴城
～隋唐時代への変革期という視点から

6 世紀後半の東魏・北斉時代は南北朝時代から隋唐時代への過渡期とされ、考古学的にも都城、仏教造象、陶磁器などの各分野で隋唐時代につながる変革の時期として捉えられている。しかしこれらの変革は個別に論じられており、これまでそれらを総合して変革期としての東魏・北斉時代を論じることは行われてこなかった。

今回のシンポジウムは、東魏・北斉時代の都城であった鄴城の発掘に長く携わってきた朱岩石氏による最新の知見とともに鄴城の全体像、また仏教学、歴史学の立場から変革期の鄴の位置づけを紹介していただいた上で、考古学的な知見を総合することで、隋唐時代への起点としての東魏・北斉時代像を描き出すことを目的とするものである。

開催日

2015 年 12 月 19 日（土）13：00～17：25

基調講演

13：10～14：00　朱岩石「考古学から見た都城としての鄴城」

14：00～14：20　倉本尚徳「刻経と造像銘から見る鄴の仏教」

14：20～14：40　岩本篤志「歴史研究から見た東魏北斉政権と鄴」

14：40～14：50　休憩

14：50～16：20　個別報告

14：50～15：10

蘇　哲「鄴城付近の東魏・北斉時期の壁画墓に見られる変化について」

15：10～15：30

八木春生：「鄴城およびその付近の東魏・北斉時期の仏教造像の多様性について」

15：30～15：50

徳留大輔「鄴城付近出土の東魏・北斉時期に見られる陶磁器の様相」

15：50～16：10

小林　仁「鄴城付近の東魏・北斉時期の陶俑に見る特質とその位置づけ」

16：10～16：20　休憩

16：20～17：05　総合討論